

秋田大学大学院教育学研究科

心理教育実践専攻

令和5年度（第I期）入学試験問題

心 理 学

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が3ページ、解答用紙が4ページあります。
- 3 問題は4題あります。4題すべてに解答しなさい。
- 4 問題冊子(問題用紙と解答用紙)の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号をすべての受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

心理学 問題用紙

臨床心理学 問題Ⅰ

文部科学省による現在の「不登校」の定義について記述しなさい。また、不登校という現象がいつ頃から社会的に注目されるようになったか、不登校児童生徒への当時の一般的な理解も含めて説明しなさい。さらに、そうした不登校児童生徒への理解が現在に至るまでどのように変遷してきたか述べなさい。

臨床心理学 問題Ⅱ

心理専門職が多職種と連携して行うアウトリーチでは、どのような対象が想定されるか具体例を複数あげて説明しなさい。また、それぞれの具体例においてアウトリーチが有効だと考える理由と、心理専門職が提供できるサービスについて述べなさい。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題Ⅰ」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題 I

問 1 心理尺度の「信頼性(reliability)」とはどのような概念であるか、説明しなさい。

問 2 以下の文中の①と②に当てはまる語句を書きなさい。

信頼性の指標として用いられる Cronbach's α (クロンバックの α 係数) の値は、観測変数間 (項目間) の①_____が大きいほど、また②_____が多いほど、大きくなる。

問 3 下の枠内の文章は、学部 2 年生の A さんが 3 年生の B さんと心理学の調査研究について話し合っている場面である。下線が引かれた箇所のうち、研究の方法として不適切な点を含むものが 2 つある。それらの箇所の番号を明記し、不適切である理由と改善案を述べなさい。

A: 心理学を勉強したらうまく人間関係ができて人気者になりやすいかなと思って、今年心理学の授業を取りました。

B: 考えることが似ているね。私は課題研究で、大学生を対象に心理学の授業の成績と外向性の高さが友人の数と関係しているかを調査したよ。75 人のデータを集めたら、友人の数は心理学の授業の成績との相関係数が 0.3 で、外向性得点との相関係数が 0.4 で、どちらも統計的に有意だったよ。

A: なるほど。

B: ただ、重回帰分析もしたんだけど、①友人の数を目的変数にして、外向性得点と授業の成績を説明変数にすると、外向性得点は偏回帰係数が有意だったけど授業の成績は有意じゃなかったの。

A: そういうときは②有意になるまで調査対象者を増やせばいいって聞いたことがあるんですが。

B: 私も③サンプルサイズが大きければ有意になりやすいって授業で聞いたことがある。やってみようかな。

A: 私はまだ調査をしたことがなくて、調査対象者ってどうやって集めればいいんですか？

B: 一般的な大学生の傾向を知りたいなら、④自分の手近な人で、同じ専攻の先輩や後輩とか、同じ心理学の授業に出ている友人とかにお願いしたらいいよ。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 II」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ

下の図が示す理論の名称と、①から⑧の空欄にあてはまる語句を解答欄に書きなさい。
また、この理論の概要について①から⑧の語句を使いながら説明しなさい。

